

ホワイトペーパー エグゼクティブサマリー

仮想環境での CodeMeter の使用

仮想マシンとターミナルサーバーでセキュアなライセンシングを実現

IT のプロフェッショナルは仮想マシンとターミナルサーバーが提供する利点を享受していますが、ソフトウェア開発会社 (ISV) はもう少し慎重になる理由があります。仮想マシンは、ISV に自由に定義可能な環境でソフトウェアをテストする簡単な手段を提供します。その一方、仮想マシンとターミナルサーバーは、ライセンシングと違法コピーからの保護がソフトウェアビジネスの成功に不可欠である今、ライセンシング製品にとって新たに大きな課題を生み出します。

仮想マシンは、(ホストまたはマスター) コンピュータ上でシミュレートされたハードウェアです。この仮想ハードウェアは、完全な (ゲストまたは子) オペレーティングシステムを実行しますが、元の実環境と連携する機能は厳しく制限されています。すべてのゲストシステムとホストは同じ物理ハードウェアを共有しますが、ゲストシステムには直接アクセスできません。ゲストシステムには、シミュレートされた仮想マシンが表示されます。

ISV やベンダーにとって、仮想マシンはいくつかの方法からの脅威に対して脆弱です。ドングルユーザーの場合、1 つのドングルを複数のゲストシステムに使用する時、1 つのライセンスを不正に複数回使用される可能性があります。純粋なソフトウェアライセンスの場合、期限付きライセンスや有料ライセンスは、コピーやスナップショットを作成することでリセットできます。マシン固定のライセンスは、割り当てられたマシン全体をクローンすることで複製できます。

一方、ターミナルサーバーは、インストールされたソフトウェアをホストします。アプリケーションはサーバー上で実行され、ユーザーはサーバーのディスプレイ出力をユーザーのハードウェア上でミラーリングするクライアントシステムにのみアクセスできます。多くのユーザーが同じターミナルサーバーを同時に使用することができ、各ユーザーは他のユーザーから独立して動作する個別のセッションを与えられます。ここでのライセンシングの脅威は、ターミナルサーバー上の同時セッションにおける単一ライセンスの不正な複数使用、またはフローティングネットワークライセンスとしてのシングルユーザライセンスの使用です。

このホワイトペーパーでは、仮想マシンとターミナルサーバーの両方に対して安全で信頼性の高いライセンシングを行うための強力なツールである CodeMeter を紹介します。このホワイトペーパーでは、CodeMeter がさまざまな実環境で効果的であることが証明された、次のような使用例について詳しく説明します：

- CodeMeter Runtime Service を使用したネットワークライセンスサーバー上のライセンス
- USB-over-Ethernet 上のホストシステム上の個人ユーザー用ドングル (CmDongle)
- ホストシステムまたはゲストシステムのファイルベースのライセンス (CmActLicense)
- ユーザー、グループ、または特定のマシンにおけるライセンス管理
- ターミナルサーバークライアントのライセンスストレージ
- 非信頼環境における高可用性とセキュリティのための冗長性

仮想環境のライセンスモデルを従来のハードウェアのライセンスと同じ位用途が広く安全なものにする CodeMeter について学びましょう。

ホワイトペーパーをダウンロード

sales-jp@wibu.com | www.wibu.jp

WIBU SYSTEMS

2026-03-03